資料３

こども若者ボイス・高校生レクチャープログラムについて

１．こども若者ボイス

こども若者の視点を大切にし、彼らから様々な方法で意見やアイデアを聴いて、市の施策等へ反映させていくことを目的に、令和５年度から「こども若者ボイス」を実施しています。今年度は、小学生と大学生も対象に実施しました。

小学生トーク　～気もちをあつめるまち探検～

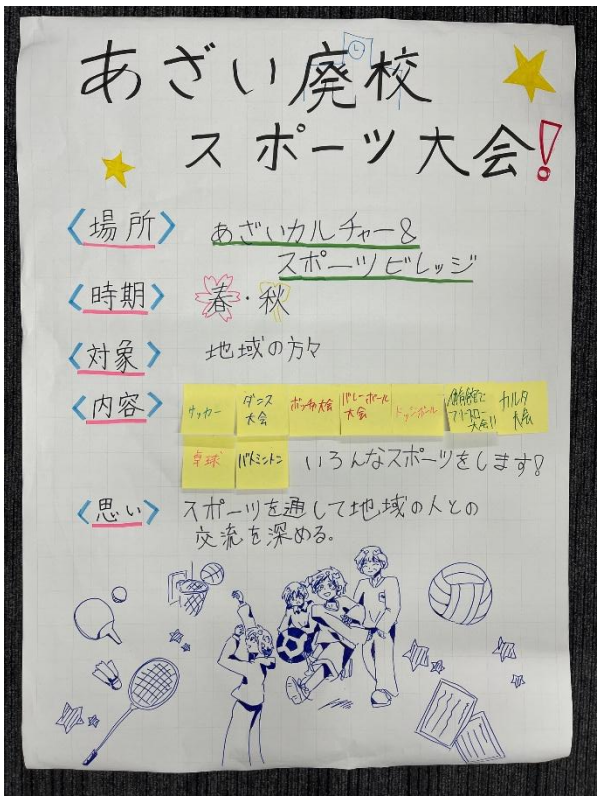
小学生については、意見を聴くというよりも、自分の感情を形や絵、言葉で自由に表現することを通じて、自己理解と感情表現を体験してもらい、長浜に対する感情的なつながりや親しみによる郷土愛・自己肯定感を育む取組を行いました。

(1)期　日　令和７年８月１日
(2)場　所　さざなみタウン会議室
(3)参加者　１年生～５年生の小学生11人
(4)概　要　まちなか（長浜八幡宮～黒壁スクエア）を３グループに分かれて探検し、こどもたちの気持ちが動いた場所でマップに「気もちシール」を貼り、お店へインタビューを行いました。

中学生トーク　～廃校を価値ある場所に～

昨年度の中学生トークで提案のあった「廃校を価値ある場所に」を踏まえて、遊休施設を活用したイベントを中学生が企画し、中学生同士で実験的にイベントを実施しました。

(1)期　日　令和７年７月２日、８月７日、８月20日（３日間）
(2)場　所　あざいカルチャー＆スポーツビレッジ
(3)参加者　市内の中学生延べ77人
(4)概　要　グループに分かれてワークショップを開催し、提案の中で一番人気のあった「あざい廃校スポーツ大会」を実施しました。

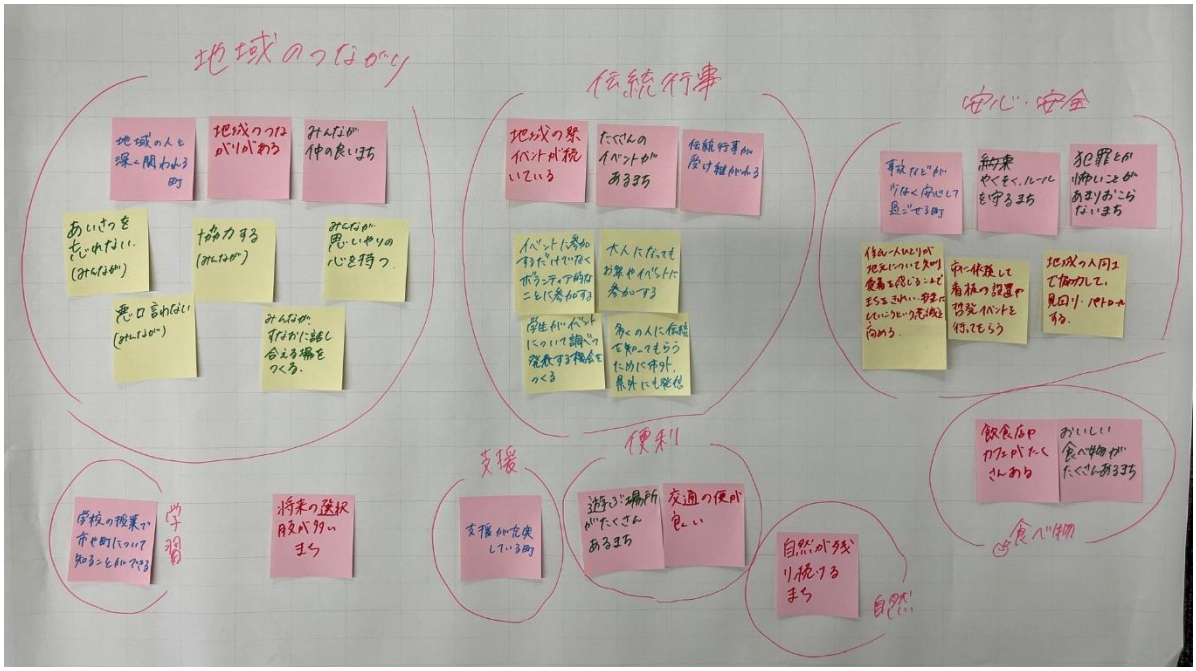


(5)参加した中学生の意見等（参加者アンケートから抜粋）
・少ない人数でも地域の問題について考える機会は必要だと思う。自分たちで調べてまとめることで、問題解決の糸口を見つけるきっかけになると感じた。
・中学生のうちの「中学生」としての意見を大切にしてもらえることはありがたい。
・人口減少などの今の私たちが直面している問題を解決するために関われて嬉しい。
・自分たちで考える力など自主性が高まった。
・長浜市の現状やこの先をどうするのかなどを考えられるいい機会だと思います。
・高校生になっても参加したい。
・中学生というこどもの意見を長浜市の取組として反映してくれるのはとても嬉しいし良いことだなと思いました。
・他校の生徒と交流する機会はなかなかないので、いい経験になった。
・来年も実施してほしい。これが続いていくともっと活性化されていくと思う。

高校生トーク　～未来の長浜市について～

「未来の長浜市」をテーマに、将来、長浜市はどんなまちになっていてほしいか、どんなまちになってほしくないかについて、自由に話し合うワークショップを開催しました。

(1)期　日　令和７年８月19日
(2)場　所　長浜北高等学校
(3)参加者　高校生22人
(4)概　要　４グループに分かれて、長浜の将来のまちづくりを進めるために、誰がどうしていけばよいか、意見やアイデアを出していただきました。



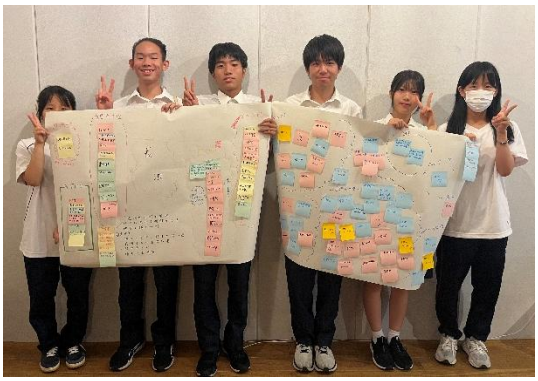
大学生トーク　～未来の長浜市について～

「未来の長浜市」をテーマに、将来も住み続けたい長浜市にするためには、どのようなまちになっていればよいか、理由も合わせて意見等を出し合うワークショップを開催しました。

(1)期　日　令和７年８月19日
(2)場　所　えきまちテラス長浜　長浜カイコー（itteki）
(3)参加者　大学生13人
(4)概　要　ワークショップに加えて、今後の進路選択の参考にしてもらうため東京－長浜リレーションズの方によるキャリア講演を開催しました。

今年度のこども若者ボイスの取組については、長浜市ホームページでもお知らせしています。ぜひご覧ください。

２．高校生レクチャープログラム

こども若者が市内外の多様な大人とともに地域に関わり、価値を創造する場や機会を創出する取組の一環として、市内高校生と関係人口が交流し新たな価値創造につなげる「こども若者×関係人口（東京－長浜リレーションズ）レクチャープログラム」を実施しました。

(1)期　日　令和７年８月22日、９月12日（２日間）
(2)場　所　えきまちテラス長浜　長浜カイコー（itteki）、さざなみタウン会議室
(3)参加者　市内の高校生７人
(4)概　要　長浜市へふるさと納税をしていただいた方へ、地元の特産品等を返礼品として送付する際に「お礼状」を同封することを企画し、高校生と一緒にお礼状の制作に取り組みました。
　また、関係人口のコミュニティ「東京－長浜リレーションズ」のメンバーの方から、高校時代の過ごし方や卒業後のキャリア形成について講演いただくとともに、お礼状を制作するにあたってレクチャーをしていただきました。